



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 石光商事株式会社

コード番号 2750

URL <https://www.ishimitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石脇 智広

問合せ先責任者 (役職名) 経営役経営戦略室長 (氏名) 北川 克史 (TEL) 078-861-7791(代表)

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,813	2.7	287	△56.4	320	△56.0	188	△57.7
2023年3月期第1四半期	14,422	33.4	658	108.3	727	116.0	446	108.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 508百万円(△18.3%) 2023年3月期第1四半期 622百万円(187.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	24.45	—
2023年3月期第1四半期	57.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	38,568	13,627	28.1
2023年3月期	36,174	13,306	29.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 10,850百万円 2023年3月期 10,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,162	2.8	515	△39.1	533	△45.4	370	△35.0	47.94
通期	59,713	1.3	1,238	△6.0	1,232	△4.9	804	1.6	104.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	8,000,000株	2023年3月期	8,000,000株
2024年3月期1Q	255,703株	2023年3月期	277,901株
2024年3月期1Q	7,724,050株	2023年3月期1Q	7,710,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられたこともあり経済活動が正常化に向かい、物価は上昇しつつも、雇用・所得環境は改善、個人消費は持ち直しの動きを見せ、景気は緩やかな回復傾向にあります。

海外に関しては、米国は個人消費等が引き続き堅調に推移しておりますが、欧州は高インフレ及び利上げの影響により、景気はこのところ足踏みが続いております。中国ではゼロコロナ政策解除に伴うサービス消費の回復は見られるものの、他の需要が伸び悩み、景気は減速傾向にあります。

当社グループの主力マーケットである食品業界におきましては、外食産業では個人消費の回復やインバウンド需要もあり、売上が昨年に比べて増加しておりますが、引き続き人手不足や原材料の高騰等により、厳しい経営環境が続いております。

当社グループの業績に影響を与える為替相場におきましては、期初1ドルあたり133円台で始まり、5月に入ってから以降、米国の連邦準備制度理事会（FRB）による利上げの実施とさらなる利上げの可能性への思惑等により、円安傾向が強まり、6月末では144円台となりました。

コーヒー業界におきましては、コーヒー相場は期初1ポンドあたり170.50セントからスタートし、投機筋の動きにより一時的に200セントを超えましたが、その後最大生産国であるブラジルの収穫開始に伴って徐々に下落し、6月末では159.00セントとなりました。

このような状況のなか、当社グループは、前連結会計年度からスタートさせた中期経営計画「SHINE2024」で掲げている、GHG（温室効果ガス）を削減しながら、社会課題解決商品の開発に積極的に取り組み、事業の持続的成長を目指しております。しかしながら当第1四半期だけを見ると、主にコーヒー関連で、販売単価と原価の動きのズレに伴って利益率が縮小し、また前年同期にあったスポットの収益がなかったこと等により、前年同期比で減益を余儀なくされています。とは言え、一定の利益確保はなされており、ペースとしては第2四半期（累計）あるいは通期の業績予想数値に概ね見合ったものになっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は14,813百万円（前年同期比2.7%増加）、売上総利益は1,880百万円（前年同期比13.1%減少）、営業利益は287百万円（前年同期比56.4%減少）、経常利益は320百万円（前年同期比56.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は188百万円（前年同期比57.7%減少）となりました。

各事業別の状況は次のとおりであります。

① コーヒー・飲料事業

1) コーヒー飲料原料

コーヒー生豆は、これまでのコーヒー相場高騰及び円安傾向により販売価格は上昇しておりますが、著しい価格競争を避け、また前年同期にスポット販売をした顧客への売上が今期なかったことにより、売上高が減少いたしました。

飲料原料は、円安により販売価格が上がっていることに加え、飲料メーカー向けの販売が好調だったことにより売上高が増加いたしました。

その結果、コーヒー飲料原料の売上高は前年同期比1.5%減少いたしました。

2) コーヒー飲料製品

アフターコロナにより外食需要が回復し業務用は増加する一方で、これまでのコーヒー相場高騰及び円安傾向に伴う値上げ実施により販売数量は減少しています。

その結果、コーヒー飲料製品の売上高は前年同期比2.1%減少いたしました。

これらの理由により、コーヒー・飲料事業の売上高は5,597百万円と前年同期比1.8%の減少となり、売上総利益は821百万円と前年同期比22.1%の減少となりました。

② 食品事業

1) 加工食品

ドライ商品は、量販店向けのトマト製品、メーカー原料・給食業態・製菓工場向けへのフルーツ缶詰等の販売が増加し、各商品群の価格改定もあり、売上高は前年同期比22.6%増加いたしました。

フローズン商品は、中国産ポテトの取り扱いが本格化し、既存の量販惣菜業態、小売業態・外食業態への販売が増加傾向で推移し、外食チェーン向け大型商品の価格改定・市場の復調もあり、売上高は前年同期比30.2%増加いたしました。

メーカー商品は、ドライ・フローズンともに、外食向けの販売が回復に向かい、売上高は前年同期比12.7%増加いたしました。

その結果、加工食品の売上高は前年同期比19.5%増加いたしました。

2) 水産

水産は、主力のエビ関連は需要先によりまちまちでしたが、外食業界の需要回復と工場で使用されるイカ商品・タコ商品の原料販売が増加したことに加え、円安による販売単価上昇により売上高が増加いたしました。

その結果、水産の売上高は前年同期比3.6%増加いたしました。

3) 調理冷食

調理冷食は、円安等の影響を受けたコストアップにより一部の鶏肉製品の販売が鈍化傾向にありましたが、顧客需要の変化に伴い、鶏肉原料の販売が増加し、全体を牽引いたしました。

その結果、売上高は前年同期比16.5%増加いたしました。

4) 農産

生鮮野菜は、国産玉葱が安値で推移した影響により海外産玉葱の販売が減少いたしました。

農産加工品は、トマトペーストの輸入コスト上昇により販売単価が上昇し、売上高が増加いたしました。一方で筋は値上げによりコンビニエンスストア向けの原材料販売が減少いたしました。

その結果、農産カテゴリーの売上高は前年同期比8.5%減少いたしました。

これらの理由により食品事業の売上高は6,819百万円と前年同期比7.0%の増加となり、売上総利益は832百万円と前年同期比13.5%の増加となりました。

③ 海外事業

コロナ明けで海外市場が正常化に向かい、日系小売店の海外出店が再開し始め、それに伴う引き合いが増えております。しかしながら、製品値上げなどの要因もあり小売向けの販売が減少傾向にあります。

また、中国現地法人において、生豆の出荷数量は増加しておりますが、足元のコーヒー相場の影響を受けた販売価格下落により利益率は低下しております。

その結果、海外事業の売上高は2,396百万円と前年同期比2.1%の増加となり、売上総利益は226百万円と前年同期比39.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,394百万円増加の38,568百万円となりました。その主な内容は、現金及び預金828百万円、棚卸資産678百万円及び投資有価証券602百万円の増加です。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,074百万円増加の24,941百万円となりました。その主な内容は、借入金1,652百万円増加と流動負債のその他に含まれる未払金の増加です。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ320百万円増加の13,627百万円となりました。その主な内容は、配当金の支払い185百万円に対し、繰延ヘッジ損益264百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益188百万円の増加です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,188,837	6,017,494
受取手形及び売掛金	11,735,550	11,635,272
商品及び製品	7,103,011	8,322,937
未着商品	2,450,534	1,979,504
仕掛品	31,849	88,131
原材料及び貯蔵品	940,421	814,210
その他	754,540	945,738
貸倒引当金	△3,099	△2,946
流動資産合計	28,201,644	29,800,343
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,156,471	3,156,471
その他(純額)	3,369,603	3,493,752
有形固定資産合計	6,526,074	6,650,224
無形固定資産		
	203,144	283,032
投資その他の資産		
投資有価証券	715,925	1,318,495
その他	622,354	605,545
貸倒引当金	△98,248	△91,810
投資その他の資産合計	1,240,030	1,832,231
固定資産合計	7,969,250	8,765,487
繰延資産	3,334	3,091
資産合計	36,174,229	38,568,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,665,259	7,186,555
短期借入金	7,512,000	7,437,655
1年内償還予定の社債	56,000	56,000
1年内返済予定の長期借入金	1,301,460	1,644,360
未払法人税等	250,319	77,476
賞与引当金	207,617	160,334
役員賞与引当金	25,853	5,550
その他	1,902,843	2,840,145
流動負債合計	18,921,352	19,408,076
固定負債		
社債	148,000	148,000
長期借入金	2,321,360	3,705,320
退職給付に係る負債	412,494	385,546
役員退職慰労引当金	833	1,166
資産除去債務	129,424	129,555
その他	934,083	1,164,237
固定負債合計	3,946,196	5,533,826
負債合計	22,867,549	24,941,902
純資産の部		
株主資本		
資本金	623,200	623,200
資本剰余金	904,195	911,976
利益剰余金	8,898,559	8,902,063
自己株式	△102,394	△94,215
株主資本合計	10,323,560	10,343,024
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,958	200,100
繰延ヘッジ損益	△13,333	250,700
為替換算調整勘定	46,393	56,332
その他の包括利益累計額合計	197,019	507,133
非支配株主持分	2,786,100	2,776,862
純資産合計	13,306,680	13,627,019
負債純資産合計	36,174,229	38,568,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	14,422,775	14,813,959
売上原価	12,257,947	12,933,246
売上総利益	2,164,828	1,880,712
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	323,271	310,449
貸倒引当金繰入額	△31,660	△6,591
報酬及び給料手当	402,306	441,930
賞与引当金繰入額	98,941	92,095
役員賞与引当金繰入額	6,451	5,550
その他	706,677	749,828
販売費及び一般管理費合計	1,505,987	1,593,261
営業利益	658,840	287,450
営業外収益		
受取利息	2,460	1,924
受取配当金	2,034	3,147
受取賃貸料	5,392	5,310
為替差益	71,577	36,368
その他	11,628	14,495
営業外収益合計	93,093	61,246
営業外費用		
支払利息	17,097	21,433
持分法による投資損失	610	220
その他	6,469	6,719
営業外費用合計	24,176	28,373
経常利益	727,757	320,324
特別損失		
固定資産除却損	0	1,379
特別損失合計	0	1,379
税金等調整前四半期純利益	727,756	318,944
法人税、住民税及び事業税	104,602	98,110
法人税等調整額	95,214	26,611
法人税等合計	199,817	124,721
四半期純利益	527,939	194,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	81,156	5,389
親会社株主に帰属する四半期純利益	446,783	188,833

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	527,939	194,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,887	38,937
繰延ヘッジ損益	65,409	264,033
為替換算調整勘定	30,776	11,007
持分法適用会社に対する持分相当額	441	228
その他の包括利益合計	94,739	314,206
四半期包括利益	622,679	508,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539,227	498,947
非支配株主に係る四半期包括利益	83,451	9,481

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。